

ビンゴ方式を使って、楽しく自然観察をする。

自ら自然の中で不思議なもの、面白いものを発見できるようになると、構成的なプログラムを準備しなくても自然の中で生き生きと過ごすことができるようになります。自然の中で過ごすことに慣れていない人は、ビンゴなどのゲーム的な要素を入れると、誰もが平等に参加し、自然の中での楽しみを見つけられるようになるものです。

ねらい

自然の中で楽しいもの、面白いもの、不思議なものなどを発見するコツをつかむとともに、その楽しさを知るようになる。

達成目標

- ・自然（森）の中にあるものを予測していえるようになる。
- ・自然の中にある楽しいもの、面白いもの、不思議なものなどを発見するコツを説明できるようになる。



導入

「ビンゴって知ってる人ー」ビンゴについて簡単に説明。ビンゴ用紙を配る。用紙の九つの枠に、これから訪ねる場所で発見できそうな自然を予想して書き込む。

まとめ

時間を決めて集まり、どんなものがどこで発見できたか発表しあう。どこで発見できたか、発見してみてどんな気持ちかなどについて紹介しあってみよう。

展開

書き込んだビンゴ用紙を持っていざ出発。予想したものが発見できたら、枠の中の小さな○を黒く染める。発見したものを他の人に教えてもよい。

実施のポイント

これから行く場所で発見できそうなものをなかなか予想できない場合（九つ出すことができない場合）は、一人一つずつ予想したものを発表しあうなどして、予想できない人をカバーしてあげよう。

評価の視点

九つの予想ができたか。予想したものを発見するために一生懸命探していたか。発見を通して、新しいことに気づくことができたか、などを大切にしよう。

発展・応用

九つの枠に書き込むテーマをいろいろと変えて実施してみよう。すでに自然学習している場合には、少しテーマを絞って書き込んでみるのも楽しい（どんな鳥が見られるかなど）

参考文献

- オリジナル/「山のふるさと村ビジターセンター平成12年環境教育活動報告書〈バードビンゴ〉」を改変類似プログラム/「公園ビンゴ」
- 「バードビンゴ」(自然教育研究センター)
- 「自然観察ビンゴ」(浜口哲一氏)
- 「ネイチャービンゴ」(ネイチャーゲーム)

◆所要時間	1時間
◆人数	何人でも
◆関連科目	理科、社会
◆焦点を当てる能力	発見する、観察する 記録する、探す
◆準備するもの	ワークシート、クリップボード
◆安全のポイント	活動の範囲を具体的に示すこと。

◆これから行くところで発見できそうな自然を予想して絵を書いてみましょう。

年 月 日 名前


◆観察して気づいたこと、感じたことを書いておきましょう

---



---



---